

CSRアクションプラン2017の結果

★★★ 達成 (90%以上) ★☆☆ ほぼ達成 (80%以上) ★☆☆ 努力中 (60%以上) ☆☆☆ 未達 (60%未満)

Action Planアイコン	No	中期CSRアクションプラン2016-2018	CSRアクションプラン2017 結果	単年評価	
 生命と健康を守る	1	得意技術によるイノベーション推進と高品質な医薬品を信頼性の高い情報と共に安定供給することによって社会に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ● 抗がん薬内包高分子ミセルNK105の臨床試験を開始 ● ジェネリック抗がん薬テモゾロミド錠「NK」を上市 ● がん領域抗体バイオシミラー トラスツズマブBS「NK」の製造販売承認を取得 	★★★	
	2	より多くの自動車安全部品をグローバルに供給することで、自動車衝突安全性の向上、人々の安全に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内、海外各拠点で既存品の増産や生産体制の拡充を計画通りに実施しグローバル品質保証体制のもと製品を安定供給 ● 新製品の生産・販売体制の構築を計画通りに実施 	★★★	
	3	研究開発を遂行し、最良の製品を提供し続けることにより、生命と健康を守り豊かな暮らしを支え社会に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術融合を図るコーポレート研究テーマ1件を新規に立上げ ● 全社研究発表会、研究所長会議、分析評価技術交流会など技術の相互理解や融合の機会を創出する取り組みを実施 ● 国内外の研究機関との共同研究2件を新規に立上げ ● 海外グループ会社での知的財産の管理体制を強化 ● 特許の自社、他社分析を通じた知的財産の活用を推進 	★★★	
	4	情報・通信、省エネルギー・省資源分野へ特徴のある機能化学品材料を提供し、「超スマート社会」の実現に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信分野に電子デバイス向けドライフィルムレジスト等を提供 ● 産業印刷分野にインクジェットプリンタ用色素を開発し提供 	★★★★	
	5	市場環境や顧客ニーズに適合した農業を提供し、安定した農業生産に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規殺虫剤「ファインセーブ®」の農業登録を取得 ● 既存剤において13作物+1作物群、19病害虫に適用拡大 	★★★★	
 豊かな暮らしを支える	6	サプライチェーンマネジメントを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライヤーとコミュニケーションを取り情報収集を進めて調達リスクを軽減し、調達先の多様化を図ることで調達の安定を確保 	★★★	
	7	製品品質に対する顧客満足度のさらなる向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大顧客苦情(損失金額1,000万円以上)が1件発生^{※1} ● 顧客苦情データベースおよび品質工程異常データベースを改定し、なぜなぜ分析を取り込んで再発防止策の水平展開を推進 ● グローバル品質保証体制の強化を継続実施、新たに教育センターを組織し社員の安全・技術教育を強化 	★★★	
	8	省資源・省エネルギー・地球温暖化対策を推進し環境保全に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> ● レスポンスブル・ケア方針のもと各事業部門で環境への取り組みを実施、2020年目標は達成の見込 ● エネルギー使用原単位：対前年度比2.7%削減^{※1}で目標達成 	★★★★	
	9	廃水処理に関する環境保全技術を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃水処理技術向上を目指した全社プロジェクトを推進し基盤技術を確立 	★★★★	
	10	地域社会とのコミュニケーションを通じて地域社会との共生と発展に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場の地域住民と各種のコミュニケーションを継続実施 ● 教育CSRとして地域の小学校へ出張授業を実施、イベント型実験教室「子ども化学実験ショー化学2017」へ参加 ● ピンクリボン活動を各地で展開し約2万人へ乳がんの早期発見・早期治療を啓発 	★★★★	
 持続可能な社会・環境に貢献する	11	ステークホルダーに対して適時適切な情報発信による対話を行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務・非財務情報をタイムリーに適正開示 ● 機関投資家との継続した対話を実施 ● IFRS導入検討プロジェクトにて影響度調査を実施 	★★★	
	12	人権尊重とワーク・ライフ・バランスのとれた労働環境を提供し、人材育成とダイバーシティを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性活躍推進：女性管理職比率7.0%^{※1}(対前年度比0.3ポイント増) ● 人事階層別教育、各工場・事業部門での技能研修など人材育成を推進 ● グローバル人材育成として海外赴任前教育、語学教育支援、海外グループ会社との人材交流を実施 ● 管理職研修を通じて次世代育成支援対策についての教育を実施 ● 労働組合と労働時間専門委員会を開催しノー残業デーを推進、有給休暇の取得推進を目的として「アニバーサリー休暇」を導入 ● ハラスメントの防止と対応に関する社内規程の改定に沿った専門の窓口および対策委員会の運営を強化 ● ハラスメントに関する教育を集合研修や全社員を対象としたeラーニングで実施 	★★★	
	13	事故や労働災害のない安全・安心な職場環境を維持する	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレスチェックを継続実施、高ストレス職場に対してグループカウンセリング等を実施 ● 電気系統の作業事故が1件発生^{※1} ● 各事業場、グループ会社にて防災訓練、安全審査を継続実施、不安全行動の摘出を目的とした職場巡視活動(定点観察)を開始 ● 中国のグループ会社の環境安全診断および環境保安担当者委員会を実施 	★★★	
	14	成長する企業グループとして安定的な収益を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上高・営業利益ともに増収増益を達成 ● 資本効率化を図るためROICを経営指標として取り入れ、工場のコストダウン・遊休資産の整理を推進 	★★★★	
	15	有事においても事業継続性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● BCP訓練を2017年度は医薬事業本部を対象として実施 ● 現場に則したBCPマニュアルの見直しを継続実施 	★★★★	
	16	グループ全体へのCSR経営の浸透とコンプライアンスの徹底を継続して図る	<ul style="list-style-type: none"> ● CSR研修：グループ会社5社189名を含め集合研修315名が受講 ● コンプライアンス研修：国内ではeラーニング研修1,973名、集合研修825名、DVD研修778名、中国では集合研修380名が受講 ● 各国・地域において法改正等へ迅速かつ適正に対応、GDPR(EU一般データ保護規則)への対応を推進 	★★★★	
	17	グループ全体のコーポレートガバナンスの強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会の実効性評価について取締役・監査役への評価アンケートを実施 ● 監査部と監査役の意見交換や監査部と監査法人とのミーティングを開催し三様監査の連携を強化 ● 情報セキュリティ研修およびセキュリティに関するセルフチェックを全従業員へ継続して実施 	★★★★	
	いい会社・強い会社になる				

※1：日本化薬単体の数値